



2023年11月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年9月26日

上場会社名 アスカ株式会社
 コード番号 7227 URL <http://www.aska.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 片山 義規
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 神谷 政志
 四半期報告書提出予定日 2023年10月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名
 TEL 0566-36-7771

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期第3四半期の連結業績(2022年12月1日～2023年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第3四半期	32,846	45.0	1,205	208.0	1,434	102.4	902	57.5
2022年11月期第3四半期	22,659	15.5	391	33.0	708	14.9	572	22.1

(注) 包括利益 2023年11月期第3四半期 1,086百万円 (7.2%) 2022年11月期第3四半期 1,169百万円 (9.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第3四半期	158.02	
2022年11月期第3四半期	100.30	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第3四半期	38,261	11,316	29.6
2022年11月期	36,295	10,447	28.8

(参考) 自己資本 2023年11月期第3四半期 11,309百万円 2022年11月期 10,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期		16.00		22.00	38.00
2023年11月期		16.00			
2023年11月期(予想)				24.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年11月期の連結業績予想(2022年12月1日～2023年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,700	30.6	1,600	81.5	1,750	34.9	1,150	7.7	201.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年11月期3Q	5,715,420 株	2022年11月期	5,715,420 株
期末自己株式数	2023年11月期3Q	5,967 株	2022年11月期	5,967 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年11月期3Q	5,709,453 株	2022年11月期3Q	5,709,489 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年12月1日から2023年8月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に移行したことともない、行動制限の緩和が進み、経済活動に回復の動きがみられました。しかしながら、円安の進行、原材料価格やエネルギー資源の高騰により、景気の動向は依然として不透明な状況が続いています。

このような状況のなかで、当社グループは提案型の営業を積極的に展開するとともに、より効率的な製造体制を目指して、技術開発及び合理化活動を強力に推進しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高328億4,657万円(前年同四半期比45.0%増)、営業利益12億524万円(前年同四半期比208.0%増)、経常利益14億3,453万円(前年同四半期比102.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益9億218万円(前年同四半期比57.5%増)となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

〔自動車部品事業〕

国内でトヨタ系の新型車種の量産が開始されたこと、海外で三菱系の生産台数が回復したことに加え、鋼材の価格上昇分が売価に反映された結果、当事業の売上高は、268億9,728万円(前年同四半期比53.2%増)となりました。営業利益は、10億1,982万円(前年同四半期比275.5%増)となりました。

〔制御システム事業〕

主要得意先の件名品受注残高が例年と比べ好調に推移したことに加え、大型件名が受注できた結果、当事業の売上高は、28億5,231万円(前年同四半期比32.2%増)、営業利益は、1億2,481万円(前年同四半期比175.7%増)となりました。

〔ロボットシステム事業〕

国内での自動車分野のティアワンメーカー向け自動化設備が減少した結果、当事業の売上高は、23億7,410万円(前年同四半期比1.5%減)となりました。営業利益は、米国子会社で、加工及び組立作業の内製化によるコスト削減をした結果、5,575万円(前年同四半期は153万円の営業損失)となりました。

〔モータースポーツ事業〕

観客を動員したイベントを開催することができた結果、当事業の売上高は、8億9,399万円(前年同四半期比11.6%増)となりましたが、経費の増加により、営業損失は、7,669万円(前年同四半期は676万円の営業損失)となりました。

〔賃貸及び太陽光事業〕

前年同四半期とほぼ変動がなく、当事業の売上高は、3億8,017万円(前年同四半期比4.0%増)、営業利益は、7,993万円(前年同四半期比1.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第3四半期連結会計期間末の総資産は、382億6,157万円の前連結会計年度末に比べ19億6,560万円の増加となりました。これは主に有形固定資産のその他(純額)が増加したことによるものであります。

負債は、269億4,480万円の前連結会計年度末に比べ10億9,648万円の増加となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、113億1,677万円の前連結会計年度末に比べ8億6,911万円の増加となりました。これは主に利益剰余金が増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、29.6%(前連結会計年度末は、28.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年6月23日に公表した業績予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,619,954	1,644,741
受取手形	152,913	124,896
売掛金	5,945,804	5,644,061
商品及び製品	217,510	361,592
仕掛品	2,989,446	3,920,828
原材料及び貯蔵品	601,013	659,968
その他	1,855,123	2,018,590
貸倒引当金	△17,057	△11,422
流動資産合計	13,364,707	14,363,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,572,101	7,428,120
機械装置及び運搬具(純額)	4,817,604	4,440,774
土地	6,138,126	6,216,453
その他(純額)	1,346,498	2,369,453
有形固定資産合計	19,874,330	20,454,802
無形固定資産		
その他	29,165	28,206
無形固定資産合計	29,165	28,206
投資その他の資産		
投資有価証券	2,414,435	3,023,803
その他	613,331	391,510
投資その他の資産合計	3,027,767	3,415,314
固定資産合計	22,931,263	23,898,323
資産合計	36,295,971	38,261,579
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,772,602	5,323,448
電子記録債務	1,969,955	2,204,522
短期借入金	3,540,000	1,170,000
1年内返済予定の長期借入金	3,804,605	4,523,179
未払法人税等	64,804	289,306
賞与引当金	55,601	220,059
その他	2,453,066	3,258,027
流動負債合計	16,660,635	16,988,542
固定負債		
長期借入金	7,815,722	8,852,021
役員退職慰労引当金	420,415	157,916
退職給付に係る負債	798,474	796,347
その他	153,068	149,978
固定負債合計	9,187,681	9,956,263
負債合計	25,848,317	26,944,806

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	903,842	903,842
資本剰余金	900,444	900,444
利益剰余金	7,022,116	7,707,344
自己株式	△3,727	△3,727
株主資本合計	8,822,675	9,507,904
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	891,045	1,053,353
為替換算調整勘定	730,752	750,010
退職給付に係る調整累計額	△3,028	△1,362
その他の包括利益累計額合計	1,618,769	1,802,001
非支配株主持分	6,209	6,866
純資産合計	10,447,654	11,316,772
負債純資産合計	36,295,971	38,261,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)
売上高	22,659,886	32,846,571
売上原価	20,765,028	30,050,578
売上総利益	1,894,858	2,795,993
販売費及び一般管理費	1,503,542	1,590,745
営業利益	391,315	1,205,247
営業外収益		
受取利息	3,341	2,293
受取配当金	34,798	55,391
持分法による投資利益	48,697	51,234
為替差益	216,237	61,345
助成金収入	3,299	10,349
受取保険金	507	27,093
その他	56,917	62,583
営業外収益合計	363,799	270,291
営業外費用		
支払利息	39,975	32,591
固定資産除売却損	1,193	2,815
その他	5,350	5,596
営業外費用合計	46,520	41,003
経常利益	708,594	1,434,534
特別利益		
補助金収入	81,664	345
出資金売却益	—	21,127
特別利益合計	81,664	21,472
特別損失		
固定資産圧縮損	80,000	—
役員退職慰労金	—	241,810
子会社整理損	—	39,587
特別損失合計	80,000	281,397
税金等調整前四半期純利益	710,258	1,174,609
法人税、住民税及び事業税	153,826	383,933
法人税等調整額	△16,771	△112,148
法人税等合計	137,055	271,784
四半期純利益	573,203	902,824
非支配株主に帰属する四半期純利益	549	636
親会社株主に帰属する四半期純利益	572,654	902,188

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	573,203	902,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	194,143	162,307
為替換算調整勘定	407,891	19,278
退職給付に係る調整額	△5,304	1,666
その他の包括利益合計	596,730	183,252
四半期包括利益	1,169,934	1,086,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,168,750	1,085,419
非支配株主に係る四半期包括利益	1,183	657

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年12月1日至2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	制御シス テム事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業	賃貸及び太 陽光事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	17,553,736	2,078,473	2,110,230	800,801	116,645	22,659,886	—	22,659,886
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	78,363	298,835	—	248,889	626,087	△626,087	—
計	17,553,736	2,156,836	2,409,065	800,801	365,534	23,285,974	△626,087	22,659,886
セグメント利益又は損失 (△)	271,590	45,275	△1,535	△6,760	81,125	389,695	1,620	391,315

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,620千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年12月1日至2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	自動車部品 事業	制御シス テム事業	ロボットシ ステム事業	モーター スポーツ事業	賃貸及び太 陽光事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	26,897,283	2,791,234	2,152,934	893,992	111,126	32,846,571	—	32,846,571
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	61,082	221,173	—	269,045	551,300	△551,300	—
計	26,897,283	2,852,317	2,374,107	893,992	380,171	33,397,872	△551,300	32,846,571
セグメント利益又は損失 (△)	1,019,821	124,813	55,754	△76,692	79,930	1,203,627	1,620	1,205,247

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額1,620千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。